

# キプロス共和国のホストタウンになりました

■問い合わせ先 総合政策課 ☎(32)8886

5月29日、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局から、ホストタウン第20次登録の内容が公表され、下野市はキプロス共和国のホストタウンとして登録されました。

これにより、県内でのホストタウンとしての登録は10件となりました。

## 県内の登録一覧

- ハンガリー 6件 (栃木県・栃木市・小山市・さくら市・矢板市・足利市)
- オーストリア共和国 1件 (那須塩原市)、ナイジェリア連邦共和国 1件 (小山市)
- レソト王国 1件 (高根沢町)、キプロス共和国 1件 (下野市)



## ホストタウンとは

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、世界中から多くの選手や観客などが日本に訪れることとなります。

ホストタウンとは、事前合宿の誘致を通じて、大会参加国や地域との人的・経済的・文化的な交流を図ることを目的とした国の制度です。登録されると、交流事業などに対して国から財政的支援を受けることができます。

## 登録までの経緯

大松山運動公園に整備された陸上競技場を、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が作成している事前キャンプガイドに登録し、陸上競技を中心に誘致を進めていました。

栃木県や日本陸上競技連盟、日本オリンピック委員会などを通してPR活動を行ったところ、キプロス共和国から事前キャンプの実施の意向が示されました。

各団体と連携しながら、キプロスオリンピック委員会とパラリンピック委員会と、受け入れ条件等の調整や交流推進へ向けた提案を行い、今回の登録に至りました。

## ホストタウンとしての活動予定

県内の競技関係者や地域住民、高校生などによるボランティアを募集し、事前キャンプの受け入れを行います。

キプロス共和国の理解促進に努め、大会の機運の醸成に尽力していきます。

具体的な活動については、決まり次第お知らせします。

### 実施が考えられる活動

- サポーター組織の形成、壮行会等の応援イベント
- 歓迎イベント、小中学生のキャンプ訪問
- 選手団による小学校訪問、交流イベント など

## キプロスってどんな国？



### ■日本との関係

- 2010年 友好50周年
- 2011年 東日本大震災の際5万ユーロの義援金を提供
- 2018年 在キプロス日本国大使館開設

### ■キプロスの観光地

キプロス島は四国の半分ほどの面積しかない小さな島ですが、ユネスコ世界遺産に登録された価値ある遺跡が3箇所あります。

- ・Paphos (パフォス)
- ・Choirokoitia (ヒロキティア)
- ・Agios Nikolaos tis Stegis (聖ニコラオス教会) を含むトロードス地方の壁画教会群

一体どんなところなのでしょう？この機会に、キプロス共和国について調べてみませんか？

■場所 トルコの南東の地中海に位置するキプロス島の大部分を占める共和国

■人口 約119万人

■面積 9,251平方キロメートル (四国の約半分)

■首都 ニコシア (人口約20万人)

■公用語 ギリシャ語、トルコ語

※英語も広く用いられている。



### ■キプロス国旗

キプロス島の形をデザイン。黄金色は特産の銅 (主に黄銅) を、オリーブの枝は民族の平和を表します。